

kWモニタリングの結果について（2022年7月8日時点）

公表予定日	対象週	期間
7月8日 (金)	翌週	7月9日（土）～ 7月15日（金）
	翌々週	7月16日（土）～ 7月22日（金）
(次回予定)		
7月15日 (金)	翌週	7月16日（土）～ 7月22日（金）
	翌々週	7月23日（土）～ 7月29日（金）

※ 毎週情報更新予定

- 気象予報を踏まえた需要想定や発電機の計画外停止状況を踏まえ毎週2週間先までのkWバランスを確認する（期間は7月9日～9月30日まで、毎週実施を予定。）
- 具体的には、以下の2点を整理、確認する。
 - ①週間計画（毎週木曜日に公表される週間広域予備率（翌週、翌々週））の概況
 - ②kWモニタリング（厳気象発生による需要増加※を踏まえた評価）

※厳気象発生による需要増加の考え方

対象期間	7月9日～15日	7月16日～9月9日	9月10日～30日
想定需要	厳気象H1需要に準ずる需要 (H3需要等*)	過去10年間で最も厳気象（猛暑）であった年度並みの気象条件での最大電力需要（厳気象H1需要）	厳気象H1需要に準ずる需要 (H3需要等*)

- ✓ 6月27日～7月1日にかけての東京エリア等で電力需給ひっ迫注意報が発令されました。
- ✓ この間の最大需要については、多くのエリアで7月のH3需要と同程度の需要が発生しております。
- ✓ 加えて、東京エリアについてはH3需要を約100万kW程度上回り、モニタリングの評価を上回る事象が発生したと考えております。
- ✓ こうした点を踏まえ、どのような水準でモニタリングを実施するか継続して検討を行うこととします。

(参考)

H1需要とは：ある月における毎日の最大電力（1時間平均）の最大値
 H3需要とは：ある月における毎日の最大電力（1時間平均）を上位から3日とり、平均したもの

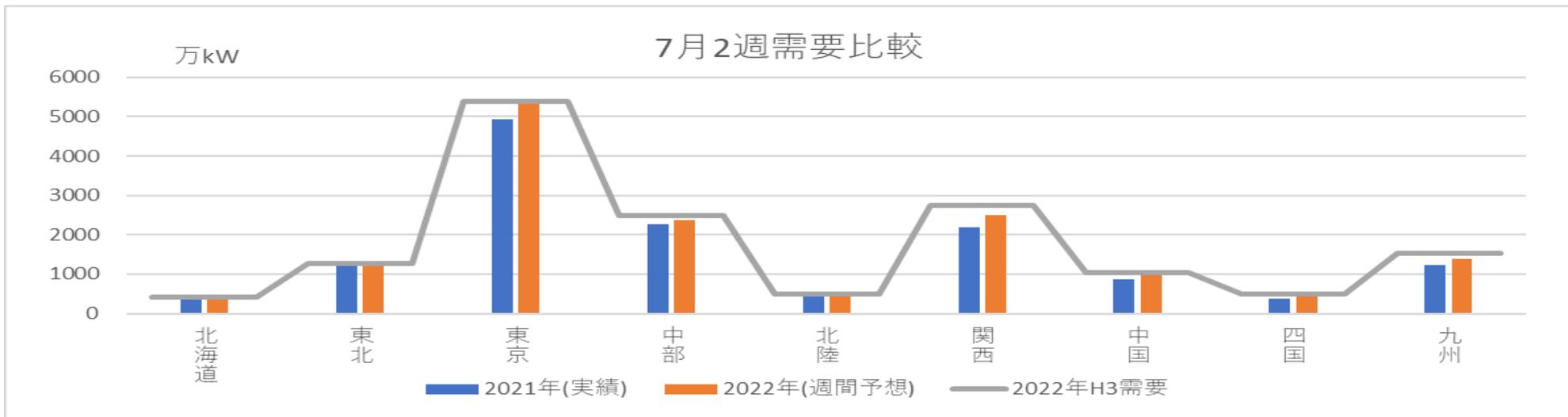
(参考) 各地の2週間の天気・気温

翌週

翌々週

日付	08日 (金)	09日 (土)	10日 (日)	11日 (月)	12日 (火)	13日 (水)	14日 (木)	15日 (金)	16日 (土)	17日 (日)	18日 (月)	19日 (火)	20日 (水)	21日 (木)
北海道 札幌市	曇 25/20 0%	晴のち雨 25/19 50%	雨 26/20 70%	雨のち曇 26/20 60%	雨 24/21 80%	雨 25/20 80%	曇 25/20 40%	晴 23/18 30%	晴のち曇 23/16 40%	曇 22/17 50%	曇のち晴 23/15 50%	雨 21/18 100% E	曇時々雨 23/18 100% E	雨のち曇 22/19 80% E
東北 仙台市	雨 28/22 40%	雨 26/21 90%	曇 31/22 10%	曇 28/24 50%	雨時々曇 25/24 90%	雨時々曇 26/22 70%	曇 25/22 50%	雨 24/22 70%	雨 25/22 70%	雨 23/22 90%	雨のち曇 27/23 90%	曇のち雨 25/24 80% E	曇 30/23 50% C	曇 28/23 50% D
関東・甲信 千代田区	曇 34/24 40%	曇 33/23 10%	曇 34/25 10%	晴のち雨 33/25 60%	曇一時雨 32/26 70%	雨 30/25 70%	雨 28/23 70%	曇のち雨 30/23 70%	曇 31/24 50%	雨 28/25 90%	雨時々晴 30/24 60%	曇 32/26 50% D	晴のち曇 33/25 40% C	雨時々曇 31/26 90% E
北陸 金沢市	晴 31/24 0%	晴 32/23 0%	曇一時雨 32/24 30%	曇 31/24 50%	曇のち雨 31/26 60%	曇 30/25 50%	晴のち曇 30/23 30%	曇のち雨 31/24 70%	雨 28/25 80%	雨 28/24 80%	晴 30/24 20%	雨時々曇 30/25 80% E	曇時々雨 29/24 70% E	雨のち曇 29/24 80% E
東海 名古屋市	曇のち晴 33/26 0%	晴のち曇 33/24 10%	曇 33/25 10%	曇 34/24 50%	曇のち雨 34/27 80%	曇 34/26 50%	曇時々晴 32/26 50%	曇 32/26 50%	雨 31/26 90%	雨 29/25 90%	曇 33/25 50%	曇一時雨 34/28 90% E	曇のち雨 35/25 70% E	雨時々曇 34/27 80% E
近畿 大阪市	曇時々晴 31/26 20%	晴 32/25 20%	曇のち晴 35/25 10%	曇のち雨 33/26 70%	雨時々曇 32/27 80%	曇のち雨 33/27 60%	曇 33/27 50%	曇のち雨 32/27 70%	雨 30/26 90%	雨のち曇 31/26 90%	曇 32/25 40%	曇一時雨 32/28 60% E	曇のち雨 33/26 70% E	曇時々雨 34/28 90% E
中国 広島市	曇のち雨 29/27 90%	雨のち曇 31/25 70%	雨のち曇 33/26 50%	曇のち雨 32/26 70%	雨 32/27 70%	雨 31/27 70%	雨時々曇 31/26 70%	雨 31/28 80%	雨時々曇 31/25 70%	雨のち晴 31/24 70%	曇 32/25 50%	曇 31/26 40% D	曇のち雨 31/24 90% E	雨時々曇 30/27 80% E
四国 高知市	雨 28/25 80%	雨のち曇 30/23 80%	曇一時雨 31/25 40%	曇 30/25 50%	雨 29/26 70%	雨 30/25 70%	雨時々曇 29/24 70%	雨 30/25 80%	雨 29/24 70%	曇のち晴 30/25 50%	曇 30/23 50%	曇 32/23 40% D	曇のち雨 31/22 70% E	雨時々曇 32/26 80% E
九州 福岡市	曇のち雨 33/28 70%	曇時々晴 33/27 40%	晴 32/26 10%	晴のち雨 31/27 70%	雨 30/26 100%	雨 31/26 70%	雨のち曇 31/27 70%	雨 32/28 80%	雨のち曇 32/25 70%	曇のち晴 32/26 30%	曇のち雨 30/25 70%	雨のち曇 30/26 70% D	曇のち雨 30/25 80% E	雨時々曇 28/27 90% E
沖縄 那覇市	雨のち晴 32/28 20%	晴のち雨 31/28 50%	雨時々曇 31/27 40%	曇 31/27 40%	曇 31/28 40%	晴 31/28 30%	曇 31/28 50%	曇のち雨 31/28 70%	晴のち曇 32/28 30%	雨時々曇 31/28 70%	雨時々曇 32/28 70%	曇一時雨 32/29 70% E	曇のち晴 32/29 50% D	晴時々曇 32/29 30% C

- 例年、7月中旬まで関東地方は梅雨の時期であるが、今年は梅雨明けし、真夏日のところも多い。このため東京エリアの需要想定はH3需要をわずかに上回る予想。
- 最大需要発生時及び最小予備率発生時ともに、東京エリアにて広域予備率8%を下回る予想。一方、雲の多い天気でもあることから太陽光の供給力変化に注意が必要。



評価対象期間：7月9日～15日（当該期間の平日の内、9エリアで最も予備率が低くなる日の情報）

【単位：予備率%】

	日付	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
最大需要発生想定時刻	7/13(水) 14:30	15.3		6.1	14.0			16.0		31.1	最大時15:30
最小予備率発生想定時刻	7/13(水) 17:00	12.2	10.5	7.1	11.0			15.0		36.1	最小時20:30

広域予備率情報（7/7時点）：広域予備率Web公表システム <https://web-kohyo.occto.or.jp/kks-web-public/>

※ 広域機関が、過去のデータより最大需要・最小予備率発生日数が多い時間帯を指定したものであり、各エリア毎の発生想定時刻とは異なる

参考： https://www.occto.or.jp/occtosystem2/oshirase/2021/files/2022_schedule_shitei_kouhyou_chuuiten.pdf

- 週間天気予報や、各社の週間計画での需要想定レベルを踏まえ、翌週における気象リスクケースとして、週間計画の需要予想をH3需要に置き換えて評価※。
 ※東京エリアの需要予想は週間計画でH3需要を上回るため、週間計画のままリスクケースとして評価
- 本ケースでは厳気象発生に対応した追加供給力対策（電源 I'発動や火力増出力運転）は見込んでいない。
- 今後も気象状況の変化や電源トラブルなどの需給動向を注視し、前々日、前日断面での確認を行い、広域予備率が5%を下回る場合に、政府や一般送配電事業者と連携し対策を講じる。

評価対象期間：7月9日～15日

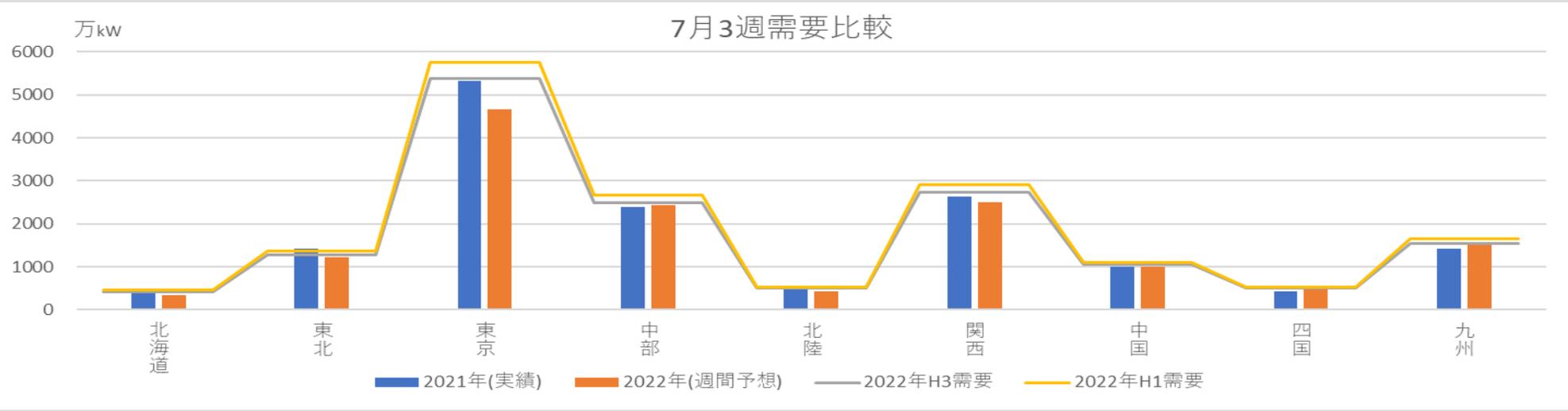
【単位：予備率%】

	日付	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
最大需要 発生想定時刻	7/13(水) 14:30	13.0	13.7	6.1		13.1		18.0	24.8	22.0	29.1 <small>最大時15:30</small>
最小予備率 発生想定時刻	7/13(水) 17:00		7.4	7.1			8.0			12.7	34.1 <small>最小時20:30</small>

リスクケースの供給力前提

- 東京エリア：週間計画における供給力のまま
- 東京以外のエリア：週間計画における供給力に加え、バランス停止機の起動や、厳気象発生に伴い想定される太陽光出力増分を考慮
- 週間計画策定以降にHJKS（発電情報公開システム）等において公開された運転・停止情報については、情報精査のため、本リスクケースの試算には反映していない。

- 7月も中旬となり、例年の高需要期に入るが、各社の需要想定としては、昨年並みの水準を想定している。
- 高需要期に備えた補修時期も終わり、多くの電源が復帰することもあり、広域予備率は8%を上回る安定的な水準を確保できる見込み。



評価対象期間：7月16日~22日（当該期間の平日の内、9エリアで最も予備率が低くなる日の情報）

【単位：予備率%】

	日付	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
最大需要発生想定時刻	7/19(火) 14:30	25.4	19.1	15.3						39.4 最大時15:30	
最小予備率発生想定時刻	7/20(水) 17:00	13.5			13.0			21.5		40.9 最小時20:30	

広域予備率情報（7/7時点）：広域予備率Web公表システム <https://web-kohyo.occto.or.jp/kks-web-public/>

※ 広域機関が、過去のデータより最大需要・最小予備率発生日数が多い時間帯を指定したものであり、各エリア毎の発生想定時刻とは異なる

参考： https://www.occto.or.jp/occtosystem2/oshirase/2021/files/2022_schedule_shitei_kouhyou_chuuiten.pdf

- 翌々週における気象リスクケースとして、週間計画の需要予想を厳気象H1需要に置き換えて評価。
- 厳気象発生に対応した追加供給力対策（電源 I '発動や火力増出力運転）を考慮することで、最大需要発生時は広域予備率8%以上となるものの、最小予備率発生時には広域予備率5%をやや欠く局面も想定されるため、広域でのH1需要発生に警戒が必要。
- このため、今後も気象状況の変化や電源トラブルなどの需給動向を注視し、前々日、前日断面での確認を行い、広域予備率が5%を下回る場合に、政府や一般送配電事業者と連携し対策を講じる。

評価対象期間：7月16日~22日

【単位：予備率%】

	日付	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	九州	四国	沖縄
最大需要 発生想定時刻	7/19(火) 14:30	6.3	11.9	11.5				17.3		20.1	34.7 <small>最大時15:30</small>
	日付	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
最小予備率 発生想定時刻	7/20(水) 17:00	5.0	12.4	4.8						11.6	34.1 <small>最小時20:30</small>

・ リスクケースの供給力前提

- 全エリア：週間計画における供給力に加え、バランス停止機の起動や、厳気象発生に伴い想定される太陽光出力増分を考慮
更に、厳気象発生に対応する追加供給力対策として、電源 I '発動と火力増出力運転も加味
- 週間計画策定以降にHJKS（発電情報公開システム）等において公開された運転・停止情報については、情報精査のため、本リスクケースの試算には反映していない。

【参考】各需給確認の取り組みにおける前提条件の比較

前提条件	需給確認の取り組み		
	需給検証報告	kWモニタリング	系統情報サービスで公表される 電力需要予想・供給力（週間～翌日・当日）
需要	<p><u>過去10年間で最も厳気象（猛暑）であった年度並みの 気象条件での最大電力需要（厳気象H1需要）</u></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">高需要期前後の7月上旬や9月下旬は 別のリスク需要を設定</p>		至近の気象予報等から 一般送配電事業者が想定した需要
供給力	<u>電源 I ' 及び火力増出力分を加えた量の供給力</u>		一般送配電事業者が集約し 当機関に提出される供給力
	電源の補修による供給力減分を月 平均値、計画外停止として2.6% の電源が停止すると想定した値	<u>電源の補修及び計画外停止は実態を反映した値</u>	
確認の位置付け	厳気象H1需要に対する 月別での予備率確保の確認	<u>リスクケース（厳気象H1需要等）をあてた 実需給断面に至るまでの需給確認 （ひっ迫リスクの早期把握）</u>	実需給断面における最新の需給予想